

多様な分野での女性活躍推進の取組みについて

◇山形県男女共同参画計画の策定(計画期間:2021年度~2025年度)

~令和における男女共同参画の推進は次のステージへ~

【基本目標】

互いを認め合い、共に助け合い、誰もが希望する
生き方で輝ける社会

【3つの基本の柱】

柱Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

柱Ⅱ いきいきと男女がともに活躍できる環境づくり

柱Ⅲ 安全・安心に暮らせる社会づくり



**山形県
男女共同参画計画**
計画期間:2021年度~2025年度 概要版

「男女共同参画社会」とは、男女が性別にかかわらず個人として尊重され、多様な生き方を選択でき、認め合う社会です。皆さんの家庭や職場、地域では、どのくらい浸透しているでしょうか。

◇令和における男女共同参画の推進は次のステージへ

本県では、若年女性の県外流出への対応が喫緊の課題となっています。また、新型コロナウイルスは女性の雇用や暮らしにより深刻な影響をもたらし、一方で、テレワークなどの導入が進み新しい働き方の可能性が広がりました。この機会を捉え、持続可能な地域社会を維持していくために、誰もが性別にかかわらず、いきいきと暮らせる環境づくりが重要となっています。

このたび、県における男女共同参画と女性の職業生活における活躍を推進する指針として、新たな「山形県男女共同参画計画」を策定しました。みんなで連携・協力し、誰もが活躍できる山形県を創っていきましょう。

目指す社会

**互いを認め合い、共に助け合い、
誰もが希望する生き方で輝ける社会**

~暮らし・仕事・地域で幸せになれる山形県~

性別にかかわらず、一人ひとりがそれぞれの個性や能力を十分に発揮し、家庭・職場・地域でそれぞれの役割を果たしながら、みんなが思いやりを持って、支え合っていく山形県の実現を目指しています。

◇「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点

国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)では「ジェンダー平等の実現」が目標の一つに掲げられており、国際社会が一致して「誰一人取り残さない社会」を目指し、取組みを進めています。本計画はこのSDGsの理念と軌を一にしています。

◇「ジェンダー」とは?

「ジェンダー」とは「社会的・文化的に形成された性別」と訳され、身体的な性別に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」で、それ自体に良い悪いの価値を含まないものではありません。日本は、2019年に公表されたジェンダーギャップ指数で153か国中121位と低位にあり、政府が策定した「第5次男女共同参画基本計画」においても、男女共同参画に強力に取り組む必要があるとしています。

山形県は、あなたが「あなたらしく生きる」ことを応援します。
山形県

◇Yamagata Role model collection

若年女性の県内定着・県内回帰につなげるため、県内で自分らしくいきいきと暮らし働く18名の女性のライフスタイルを、冊子及びデジタル版のロールモデル集として作成。

○オンライン100人女子会(令和3年度開催)での意見
「少し先の未来を考えるヒントとなるような先輩女性の暮らし方、働き方が知りたい」

県内の大学生や県内出身・在住の社会人がインタビュアーとなって、仕事やプライベートについて気になることを取材。

ロールモデル集に掲載されている方の中から10名のインタビュー動画を県ホームページに掲載中。



◇自治体職員向け男女共同参画の視点に配慮した表現のガイドライン

公的広報をする際に、多様な受け手の個性を尊重しつつ、共感が得られるよう、男女共同参画の視点から留意いただきたい項目をまとめたもの。

性別に基づく固定観念にとらわれない多様なイメージ・イラストや、表現に関するQ&Aを掲載するなど、公的広報を日々発信する自治体職員の気づきを促すことを目的として作成。

自治体職員向け
男女共同参画の視点に配慮した
表現のガイドライン
—公的広報の手引き—

目次

- はじめに……………P2
 - ① 男女共同参画の視点とは
 - ② 本ガイドラインの使い方
- 基本的な考え方……………P3
 - ① 男女いづれかに偏っていませんか？
 - ② 性別によって役割・イメージを固定化していませんか？
 - ③ 人物等の外見だけを強調した表現になっていませんか？
 - ④ 男女が対等な関係になっていませんか？
 - ⑤ 多様な男女が描かれていますか？
 - ⑥ 言葉遣いを気遣いましょう！
- チェックリスト……………P4
 - ① 伝えたい内容・対象・強調したい点をチェックしよう！
 - ② 主旨を共有し、再度チェックしよう！
- ケーススタディ……………P5
 - ① 市民・県民向け広報
 - ② 事業者・企業向け広報
 - ③ 表彰・式典
 - ④ 窓口・相談窓口
 - ⑤ 採用・委員等の選定
 - ⑥ 子育て・教育
 - ⑦ 防災・避難所等
 - ⑧ 職業・仕事の場
 - ⑨ キャラクター等について
- Q&A……………P10
 - 山形県男女共同参画推進員による出前講座のご案内
- さいごに……………P12
 - より良い表現のために、もう一度確認しよう！

本ガイドラインのねらい

男女共同参画の推進と表現への配慮

山形県では、男女が性別にかかわらず個人として尊重され、共に助け合い、喜びと責任を分かち合い、地域の未来を創り出していく社会をめざして、平成14年に制定した「山形県男女共同参画推進条例」に基づき、「山形県男女共同参画計画」を策定し、男女共同参画に関する施策を進めております。

山形県男女共同参画計画（令和3年度～令和7年度）では、「多様なメディアにおける男女共同参画の視点に配慮した表現」についても推進することとしており、公的広報が率先垂範していくことが大切です。

行政における情報発信

行政が発信する情報は、正確に分かりやすく伝えると同時に“どのように表現するか”が大切となります。性別への固定観念や偏見の助長につながるような男女共同参画の視点を踏まえた表現に配慮が必要です。

生き方・価値観が多様化する中、様々な立場にある受け手を意識し、多様なイメージが伝わるよう工夫を取り入れることは、より効果的に共感を得られる広報につながるのではないのでしょうか。

ガイドラインの役割

このガイドラインは、公的広報をする際に、多様な受け手の個性を尊重しつつ、共感が得られるよう、男女共同参画の視点から留意いただきたい項目をまとめたものです。

本ガイドラインが広報活動の手引きとして広く活用され、本県が目指す「互いを認め合い、共に助け合い、誰もが希望する生き方で輝ける社会」実現の一助となることを願います。

男女共同参画の視点に配慮した表現のガイドライン【山形県】 1

4 ケーススタディ

1 市民・県民向け広報

● 制度の広報をする際、女性のみに向けた表現になっていませんか？

チェックリスト A・B・Dを☑

改善前 子育て支援 子育て支援 子育て支援 子育て支援

改善後 子育て支援 子育て支援 子育て支援 子育て支援

● 催し物を開催する際、男性（女性）ばかりが参加することを想定した表現になっていませんか？

チェックリスト A・B・Dを☑

改善前 ○○○フォーラム

改善後 ○○○フォーラム

男性（女性）ばかりを描くのではなく、対象となっている人を広く表現する必要があります。

● 家庭において、料理や掃除などの家事は女性の役割と決めつけた表現になっていませんか？

チェックリスト A・B・Dを☑

改善前 食事の準備はお母さん、お手伝いは女の子がするの？

改善後 家族で家事を分担し、みんなが役割を担う様子を表現しよう！

● 介護や育児などは女性が主に担うものだと思われかねない表現になっていませんか？

チェックリスト A・B・Dを☑

改善前 介護は女性だけの役割？

改善後 男女ともに介護をする様子を表現しよう！

山形県では、働く女性の割合が高い一方で、家庭責任の偏りが大きな課題になっています。男女ともに、仕事も家庭も両立できる社会実現に向け、家事や育児、介護などを表現する際は注意が必要です。

また、子どものお手伝いにおいても、女の子と男の子を区別せずに表現したほうが良いでしょう。

男女共同参画の視点に配慮した表現のガイドライン【山形県】 5

◇ユースリーダー養成講座

山形県内等の短大・大学に通う学生を対象とし、ジェンダーや多様性等について学び、ライフステージや職場等の様々な場面で主体的に多様な選択ができる人材、ユースリーダーを育成することを目的として開催

第1回…

- ①ジェンダー平等やSRHR(性と生殖に関する健康と権利)をテーマにした講義
- ②「学校」、「家庭」、「職場」などの身近なジェンダー問題について、講師を交えて意見交換

令和5年度男女共同参画 ユースリーダー養成講座

この講座は、ジェンダーや多様性等について学び、ライフステージや職場等の様々な場面で主体的に多様な選択ができる人材を養成する講座です。社会で活躍している先輩と座談会形式で交流したり、参加者同士の意見交換を通して学びを深めてみませんか？

男性・女性イメージだけで決めてない？

LGBTの支援に興味があるけど、伝える術がない…

自分が社会に出た時、どんな社会だったか…

自分らしく生きて何だろうか？

ジェンダーカードとは？カードに書いてある「質問」に対する自分の考えや疑問などを話し合い、多様な考えや考え方を共有することで、ジェンダーの問題を考えるきっかけになるものです。

山形市会場 山形県男女共同参画センター(チェア)	プログラム (時間は10:00-15:00です)	庄内会場 酒田市交流ひろば、鶴岡市マリカ(第3回)
8月22日(火)	第1回:男女共同参画や性の多様性などについて学ぶ	8月23日(水)
8月30日(水)	第2回:オリジナルプログラム(ジェンダーカード)作成	8月30日(水)
9月中	第3回:オリジナルプログラム(ジェンダーカード)作成	9月中
9月中	第4回:高校生への出前講座	9月中
9月中	第5回:振り返り	9月中

※全て印刷済となります。オンラインでの受講はできません。
※定員:各会場5名 申込締切:7月26日(水) (ただし、定員になり次第締め切ります。)
※第1回のみ、山形市会場に申し込まれた方は、山形県庁から庄内会場へ貸切バスで移動できます。

講師

大塚愛子のスワッシュ(産学連携)プロジェクト。2018年、日本初の産学連携による産学連携プロジェクトを創出。2022年に山形県産学連携推進センターが公開講座として開設され、産学連携推進センターとして活動し、産学連携における産学連携を推進している。主催:産学連携推進センター(山形県立大学)共同開催。

山形県男女共同参画センター(チェア) 館長 伊藤 真知子氏

山形県男女共同参画推進員の方々

なんでもないプロジェクト 代表 福田 和子氏

なんでもないプロジェクト <https://www.nandemo.com>

お申し込み 最初のQRコードからお申し込みください。
対象者 山形県内の短大・大学に通う学生、または、山形県出身の短大生・大学生
お問合せ 山形県しあわせ子育て応援課 多様性・女性推進課
TEL 023-630-2262

主催:山形県



第1回 意見交換

第2回、第3回…

「ジェンダーカード」(※)の作成

※カードに記載された「質問」に対する考えや疑問を話し合い、ジェンダーの問題を考えるきっかけにするもの。

第4回…

大学生主導のもと、県内の高校生にむけた出前授業を実施



第4回 出前講座

→9名のユースリーダーが誕生

